



「学問分野・領域を超えて」
他研究科・専攻科目を履修してみませんか



同志社大学の大学院研究科で学ぶ皆さんには、多様で柔軟な思考・発想を持つ人物、自身とは異なる価値観や文化背景を有する環境の中でもタフに活躍できる人物として、社会から大きな期待が寄せられています。

専攻する学問領域の知識に加え、隣接領域や異分野についても積極的に学修し、学問的知識を相対化、統合した上で活用する力が身につけば、その能力は今後ますます複雑化、高度化する社会において大きな強みとなり、皆さんの活躍の場はきっと広がっていくことでしょう。

そこで本学は 2018 年度から、大学院生として必要な実践的な研究能力が身につく科目や隣接領域の知識を教授する科目など、所属の研究科・専攻を超えて履修することを推奨する科目を一覧にし、皆さんにご案内しています。

皆さんの積極的な履修を願っております。

2021 年 4 月 同志社大学 高等研究教育院

一部の科目は、所属研究科・専攻の修了単位として算入できない科目もあります。登録人数の制限がある科目については、科目登録手続き後に抽選等により人数を制限することをあらかじめご了承ください。

本件の問合せ先：同志社大学 高等研究教育院事務室（今出川校地寧静館 1F）
（E-mail） ji-ktken@mail.doshisha.ac.jp （Tel） 075-251-3259

分類表の読み方

実践・研究推進基礎：研究分野を問わず大学院生として必要な実践的研究能力を身につけさせる科目

教養・隣接：専門分野を深化させるために必要な周辺・隣接領域の幅広い知識・教養を教授する科目

融合・横断：領域を横断し「教養・隣接」以上に分野融合的に課題にアプローチし、発想の転換等を促す科目

合同・協働：領域・分野横断に加え、留学生、社会人学生らとの共修・協働により、国境、世代を超えて、他者や異文化を理解する科目

総合：上記4つの分類に直接該当しないが、他研究科・専攻生の履修を歓迎する科目

注意事項

一部の科目は、所属研究科・専攻の修了単位として算入できない科目もあります。

登録人数の制限がある科目については、科目登録手続き後に抽選等による人数制限をいたしますことをあらかじめご了承ください。

教室は提供元の研究科事務室で 確認してください。

(「同志社大学 ナンバリング科目分類・略号表(科研準拠版)」を参考に系・分野・分科・細目の領域毎に掲載。)

系	分野	分科	細目	科目名	実践・研究	推進基礎	教養・隣接	融合・横断	合同・協働	総合	インデックス		
人文社会系	総合人文社会	ジェンダー		イスラームとジェンダー			○				1		
	人文学	哲学	哲学・倫理学	科学思想史演習Ⅰ			○				2		
				科学思想史演習Ⅱ			○				3		
			宗教学	イスラーム基礎法学Ⅰ			○					4	
				イスラーム基礎法学Ⅱ			○					5	
				宗教哲学Ⅰ							○	6	
				宗教哲学Ⅱ							○	7	
		文学	日本文学	日本文学特講Ⅲ			○					8	
				日本古典文学情報特論Ⅰ				○				9	
				日本古典文学情報特論Ⅱ					○				10
			英米・英語圏文学	Selected Theme A10 (American War Literature)			○				○	11	
		言語学		言語計算システム特論		○						12	
		史学	アジア史・アフリカ史	朝鮮文献研究							○	○	13
				日朝関係史論							○	○	14
				近現代の中国			○						15
		社会科学	法学	公法学	大学院特殊講義 (アメリカ史における最高裁の役割)							○	16
	Japanese Constitution (From a Comparative Perspective)									○			17
	社会法学			企業人事と労働法			○						18
				企業法務と労働法			○						19
				労働法演習Ⅰ 1			○						20
				労働法演習Ⅰ 2			○						21
	民事法学		信託法								○	22	
	政治学		政治学	政治過程Ⅴ (比較政治)								○	23
				政治史Ⅳ (ヨーロッパ政治史Ⅰ)								○	24
				地方自治論研究			○						25
			国際関係論	グローバル化と格差問題			○						26
			経済学	経済学	経済解析			○					
		理論経済学			行動経済学		○	○	○				
	コミュニティの経済学					○	○	○					29
	経済学説・経済思想	経済学史					○	○	○				30
		経済思想史					○	○	○				31
	経済統計	基礎計量経済学					○	○					32
	格差社会論			○	○	○					33		

系	分野	分科	細目	科目名	実践・研究	推進基礎	教養・隣接	融合・横断	合同・協働	総合	インテックス	
人文社会系	社会科学	経済学	経済政策	開発経済			○	○			34	
				文化経済学	○	○	○			35		
				開発政策論研究			○			36		
				中国経済論			○			37		
			財政・公共経済	社会政策			○			38		
			金融・ファイナンス	国際金融論			○			39		
			経済史	アジア経済史			○			40		
		経営学			組織論			○	○			41
		社会学			日中関係史論			○				42
					レイシズム研究			○				43
		心理学	社会心理学		実験社会心理学特論			○				44
			教育・発達心理学		学校心理学特論			○				45
			実験心理学		学習心理学特論						○	46
		政策学			消費者政策研究				○	○		47
理工学系	総合理工	ナノ・マイクロ科学		専攻共通特殊講義（ナノテクノロジー）			○				48	
	数物系科学	数学	数学解析	非線形数理特論	○						49	
		物理学	生物物理・化学物理・ソフトウェアの物理		環境生理学特講	○		○	○		50	
	化学	基礎化学	有機化学		有機合成特論					○	51	
		複合化学	合成化学		応用化学特論				○		52	
			生体関連化学	バイオテクノロジー特論				○		53		
工学	機械工学	機械材料・材料力学		熱流体工学特論			○			54		
生物系	総合生物	神経科学		神経科学入門	○						55	
	生物学	生物科学	生物物理学	生物物理学特論				○			56	
	医歯薬学	社会医学	疫学・予防医学	公衆衛生学特講			○				57	
総合系	情報学	情報学基礎	統計科学	多変量解析特論	○						58	
				ベイズ統計学特論			○			59		
				経済統計学特論			○			60		
		人間情報学	認知科学	認知システム研究法特論 1			○			61		
		情報学フロンティア				言語データ科学特論 1	○		○			62
	環境学	環境創成学		専攻共通特殊講義（地球環境科学）			○	○			63	
	複合領域	社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム	専攻共通特殊講義（リスクマネジメント）			○				64	
				専攻共通特殊講義（安全工学 1）			○			65		
				専攻共通特殊講義（安全工学 2）			○			66		
				専攻共通特殊講義（安全安心実習）			○			67		
						身体運動制御論特講			○			68
		健康・スポーツ科学	スポーツ科学	スポーツ心理学特講			○				69	
				スポーツ政策論特講			○			70		
	スポーツ運動学特講							○	○	71		
脳科学			研究安全と倫理	○						72		

【アドバンスト・リベラルアーツ科目群】

2021年度から、大学院生のキャリア形成支援を目的として、普遍的な見方から全体像を捉える能力（俯瞰力）を備えつつ、文系理系・分野を越えた複数の深い専門知を組み合わせながら事象にアプローチできる能力（総合力）、未来を読み解く視座（創造力）を身に付け、良心を支柱に人間社会の将来のあり方を模索（提案力）する「アドバンスト・リベラルアーツ科目群」を開設します。科目の詳細については、アドバンスト・リベラルアーツ科目群のリーフレット、関連するプログラムの履修要項、シラバスを確認して下さい。

1

31800134-000 イスラームとジェンダー 講義 今出川 春 月・4 英語
 グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 中西 久枝

<概要/Course Content Summary>This course will offer to understand how gender has been problematized both in muslim and non-muslim societies. More precisely, the students will learn how stereotyped images and discourses on "Women and Islam" have produced and how the boundaries that existed theoretically and conventionally in gendered space have shifted. Reading assignments will be provided every other week for the students to submit their answer to the questions provided with the reading material. After the lecture introduces basic concepts and frameworks for each issue, the discussion time will be allocated.

<到達目標/Goals, Aims>

1. To overcome stereotypes and prejudices against Muslim women
2. To understand multiplicity in women's identity and its manifestation
3. To acquire the ways to study gendered issues both in muslim and non-muslim societies
4. To gain various impacts of global trends toward gender equality on the Middle East and North Africa

<担当者からのメッセージ/Message>Are you interested in Islam? Would you like to study about gender? This course will offer you to think about whether gender equality can be achieved in Muslim societies as well as in non-Muslim majority societies where Muslim communities exist. Please come and join us to discuss what is happening in the Middle East and North America as well as Muslim communities in Europe and North America.

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> None

2

30201231-000 科学思想史演習Ⅰ 演習 今出川 春 火・2 日本語
 文学研究科 哲学専攻 新 茂之

<概要/Course Content Summary>二〇世紀に英国と米国で活躍したアルフレッド・ノース・ホワイトヘッドは、数学者であり論理学者である一方で、哲学者でもある。ホワイトヘッドは、物理学の現代的刷新である相対論と量子論の知見に基づいて、有機体論の哲学を展開している。そこには文理の壁を越えた融合的な考えかたがある。本演習では、ホワイトヘッドの名著『科学と近代世界』を繙いて、その内容にかんする担当者の解説を踏まえながら、ホワイトヘッドの視座について議論を深めていく。とくに、春学期では、科学的精神の基底に焦点を絞る。

<到達目標/Goals, Aims>科学的知識の論理的構造にかんする基礎的知識を習得して、理系的事象を文系的に捕捉しながら、文系的事象にかんする理系の解析の意義を問えるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>英語の文献を講読していくので、英語の読解にかんして、同志社大学の一般入試の受験に必要な知識が必要になる。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 若干名

3

30201232-000 科学思想史演習Ⅱ 演習 今出川 秋 火・2 日本語
 文学研究科 哲学専攻 新 茂之

<概要/Course Content Summary>二〇世紀に英国と米国で活躍したアルフレッド・ノース・ホワイトヘッドは、数学者であり論理学者である一方で、哲学者でもある。ホワイトヘッドは、物理学の現代的刷新である相対論と量子論の知見に基づいて、有機体論の哲学を展開している。そこには文理の壁を越えた融合的な考えかたがある。本演習では、ホワイトヘッドの名著『科学と近代世界』を繙いて、その内容にかんする担当者の解説を踏まえながら、ホワイトヘッドの視座について議論を深めていく。とくに、秋学期では、思想史のなかで果たしてきた数学の役割に注目する。

<到達目標/Goals, Aims>科学的知識の論理的構造にかんする基礎的知識を習得して、理系的事象を文系的に捕捉しながら、文系的事象にかんする理系の解析の意義を問えるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>英語の文献を講読していくので、英語の読解にかんして、同志社大学の一般入試の受験に必要な知識が必要になる。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 若干名

4

30153501-000 イスラーム基礎法学Ⅰ 講義 今出川 春 木・1 日本語
 神学研究科 神学専攻 四戸 潤弥

<概要/Course Content Summary>イスラームは世界で第二位の17億人の信徒数を有する宗教ですが、その最大の特徴は聖職者(神父, 牧師, 僧侶)がないことです。そのため、生きる指針は聖典『クルアーン』と、それを生前に説明した預言者であり使徒であったムハンマドの言行であるスンナの二つのみとなります。神の啓示である『クルアーン』の信徒たちの共通理解は、個人的感情や思いを注ぎ込むことが十全な神と信徒との直接的関係を一旦離れて、言語を理解する力(論理と理性)に依存することになります。言語による方法は、いわゆる法律学と重なりますが、違いは、法源が不変であるので、実際の適用(プラステイス)である訴訟学にウェイトが置かれ、それらは中東・イスラーム諸国の実際の法解釈に影響を与えています。法律学、特に基礎法学や比較法学に関心がある学生にとっても有意義です。春学期は法源論を中心に講義をします。秋学期は言語解釈を中心に講義をします。

<到達目標/Goals, Aims>中東・イスラーム世界の実定法解釈に影響を与えている聖典クルアーンの言語解釈の方法論を身につける。

<担当者からのメッセージ/Message>宗教テキストである聖典『クルアーン』を法として読み、理解する方法論的学問で、法学や論理学に興味ある学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

5

30153502-000 イスラーム基礎法学2 講義 今出川 秋 木・1 日本語
神学研究科 神学専攻 四戸 潤弥

<概要/Course Content Summary>イスラームは世界で第二位の17億人の信徒数を有する宗教ですが、その最大の特徴は聖職者（神父、牧師、僧侶）がないことです。そのため、生きる指針は聖典『クルアーン』と、それを生前に説明した預言者であり使徒であったムハンマドの言行であるスンナの二つのみとなります。神の啓示である『クルアーン』の信徒たちの共通理解は、個人的感情や思いを注ぎ込むことが十全な神と信徒との直接的関係を一旦離れて、言語を理解する力（論理と理性）に依存することになります。言語による方法は、いわゆる法律学と重なりますが、違いは、法源が不変であるので、実際の適用（プラステイス）である訴訟学にウェイトが置かれ、それらは中東・イスラーム諸国の実際の法解釈に影響を与えています。法律学、特に基礎法学や比較法学に関心がある学生にとっても有意義です。春学期は法源論を中心に講義をします。秋学期は言語解釈を中心に講義をします。

<到達目標/Goals, Aims>中東・イスラーム世界の実定法解釈に影響を与えている聖典クルアーンの言語解釈の方法論を身につける。

<担当者からのメッセージ/Message>宗教テキストである聖典『クルアーン』を法として読み、理解する方法論的学問で、法学や論理学に興味ある学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

6

30133231-000 宗教哲学1 講義 今出川 春 水・4 日本語
神学研究科 神学専攻 三宅 威仁

<概要/Course Content Summary>「宗教哲学」は宗教的諸信念の哲学的反省、即ち信仰内容を理性によって分析・検証・評価する学の意味にも、宗教の本質の哲学的省察、即ち宗教一般の本質的特徴を啓示に頼らず理性のみによって把握する学の意味にも用いられてきた。本講では「宗教哲学」を前者の意味に解し、この学問分野において伝統的に取り扱われてきた「神の存在証明」「神の属性」「悪」「靈魂の不死」「自由意志」「奇跡」「宗教的多元主義」などのトピックを検討する。

<到達目標/Goals, Aims>宗教哲学の基礎的な研究課題や分析概念、方法論や理論が修得できる。

<担当者からのメッセージ/Message>一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラーム）において信仰されている諸教義を理性的に検証することによって宗教をより深く理解したい学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

7

30133232-000 宗教哲学2 講義 今出川 秋 水・4 日本語
神学研究科 神学専攻 三宅 威仁

<概要/Course Content Summary>「宗教哲学」は宗教的諸信念の哲学的反省、即ち信仰内容を理性によって分析・検証・評価する学の意味にも、宗教の本質の哲学的省察、即ち宗教一般の本質的特徴を啓示に頼らず理性のみによって把握する学の意味にも用いられてきた。本講では「宗教哲学」を後者の意味に解し、現代的な立場から宗教一般の本質的特徴を理性的に把握することを試みる。その際、狭義の哲学にはこだわらず、宗教学や他の隣接諸学において築き上げられてきた代表的な理論も手掛かりとしながら、特に宗教の中核を成すと言われる「聖なるもの」の理解に努める。

<到達目標/Goals, Aims>近現代の多様な思想家の宗教観が理解できる。

<担当者からのメッセージ/Message>特定の啓示を前提とせず、理性の立場から宗教一般の本質的特徴（構成要素や機能など）を探究することによって宗教をより深く理解したい学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

8

30206203-000 日本文学特講Ⅲ 講義 今出川 秋 水・2 日本語
文学研究科 国文学専攻 植木 朝子

<概要/Course Content Summary>『宗安小歌集』を読む 中世小歌は、室町後期、広い階層で愛唱された流行歌謡である。本講義では、小歌の三つの集成のうち『宗安小歌集』を主なテキストとして一首一首を丁寧に読み、他ジャンルの文芸と比較しつつ、小歌の特質を探る。そして、小歌の面白さ、新しさとはいかなるものであったのかについて考察する。

<到達目標/Goals, Aims>日本の古典文学と芸能に関する知識、文学作品を鑑賞する力、豊かな言語表現力を身につける。

<担当者からのメッセージ/Message>日本の古典文学や古典芸能に興味のある学生。高校3年生レベルの古典の基礎知識があることが望ましいが、必須ではない。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

9

30810011-000 日本古典文学情報特論1 講義 京田辺 春 金・2 日本語
文化情報学研究科 文化情報学専攻 福田 智子

<概要/Course Content Summary>『古今和歌集』や『伊勢物語』『源氏物語』『百人一首』などの日本古典文学作品は、筆に墨をつけて書いた写本で伝わる。そうすると、転写の過程で、さまざまな本文異同（本文の違い）が生じることがある。本授業では、それらの文学作品の複数の伝本（現在まで伝わってきた本）を、独自に開発した文字列解析ツールを用いて校合（他の本と照らし合わせて文字の相違をチェックすること）し、本文系統をめぐらさるさまざまな文献学的問題点を見出し、文学的意味づけを試みる。キーワード：国文学・校本・変体仮名・表記情報・情報科学・データマイニング・データベース。

<到達目標/Goals, Aims>変体仮名（いま使用されているものとは異なった字体の仮名）を読むことができる。また、情報科学の技術を人文系コンテンツの分析に利用する方法を知り、新たなツール開発への発想を得る。

<担当者からのメッセージ/Message>受講にあたって必要な能力や基礎知識はとくにない。日本古典文学に興味を持つ学生と、情報科学に興味をもつ学生とを結びつける場にしていきたいと考えている。個々の学生が、自らの興味と得意分野を持ち寄ること

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

10

30810012-000 日本古典文学情報特論2 講義 京田辺 秋 金・2 日本語

文化情報学研究所 文化情報学専攻 福田 智子

<概要/Course Content Summary>『古今和歌集』や『伊勢物語』『源氏物語』『百人一首』などの日本古典文学作品は、筆に墨をつけて書いた写本で伝わる。そうすると、転写の過程で、さまざまな本文異同（本文の違い）が生じることがある。本授業では、それらの文学作品の複数の伝本（現在まで伝わってきた本）を、独自に開発した文字列解析ツールを用いて校合（他の本と照らし合わせて文字の相違をチェックすること）し、本文系統をめぐるさまざまな文献学の問題点を見出し、文学的意味づけを試みる。キーワード：国文学・校本・変体仮名・表記情報・情報科学・データマイニング・データベース。

<到達目標/Goals, Aims>変体仮名（いま使用されているものとは異なった字体の仮名）を読むことができる。また、情報科学の技術を人文系コンテンツの分析に利用する方法を知り、新たなツール開発への発想を得る。

<担当者からのメッセージ/Message>受講にあたって必要な能力や基礎知識はとくにない。日本古典文学に興味を持つ学生と、情報科学に興味をもつ学生とを結びつける場にしていきたいと考えている。個々の学生が、自らの興味と得意分野を持ち寄ること

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

11

31801310-000 特殊研究A10 Selected Theme A10 (American War Literature) 講義 今出川 春 月・2 英語

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 DANIEL ERIC MCKAY

<概要/Course Content Summary> War is arguably the oldest theme in the history of Western literature. Yet how exactly is war experienced and understood, at an individual level? American literature furnishes rich and abundant source material for exploring these matters. Beginning with the American Civil War and ending with the Iraq War, this course spans a century-and-a-half of literary endeavours. No particular political position is assumed of any student who enrolls, nor is the intention to politicize students by the end of it. Rather, the intention is to explore and explode misconceptions, appreciate the life stories of canonical writers, and delve into the challenges that creative writers undergo when they engage this topic.

<到達目標/Goals, Aims> Provide a literary history of most major wars in which the United States has participated. Instill a firm understanding of the principles of literary impressionism&; modernism&; postmodernism&; and trauma theory. Engage a range of literary forms, including the novel, the short story, journalism, and new journalism.

<担当者からのメッセージ/Message> For graduate students who have acquired near-native fluency in English and who would like to study some of the iconic literary texts associated with the wars fought by the United States. Outcomes include improved knowledge of military history, literary periods, and the practice and representation of soldiering.

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> None

12

30820009-000 言語計算システム特論 講義 京田辺 春 水・3 日本語

文化情報学研究所 文化情報学専攻 星 英仁

<概要/Course Content Summary> 言語表現がどのように計算システム内で生成され、発話・意味解釈がおこなわれているのかということについて、統語論の観点から解説する。

<到達目標/Goals, Aims> 統語論の基礎知識が身につく、身近な言語現象を分析できるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message> この講義では、言語の知識とは何か、その知識はどのように獲得され、脳内でどのように具現し、進化してきたのかという「生物言語学」(Biolinguistics)の問題の一部に取り組み、担当者が全て講義をします。このような言語の根本的な問題に興味があり、サマリーペーパーや squibs を書く準備と心構えがあれば受講可能です。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

13

31800125-000 朝鮮文献研究 講義 今出川 春 水・4 コリア語・日本語

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 太田 修

<概要/Course Content Summary> 朝鮮近現代に関連する資料を読解する。前半は、日本の植民地から解放された後の在日朝鮮人関連資料（日本語）をとりあげ、歴史資料の読み方、論じ方を鍛える。後半は、各受講者が自身の研究テーマに関連するいくつかの歴史資料を選び、それを読解し、整理して発表する。朝鮮近現代を研究テーマとしない人でも、資料の読解の仕方について学べるようにし、参加を歓迎する。

<到達目標/Goals, Aims> 朝鮮近現代に関連する資料を読解し、その内容について論じることができるようになる。または、近現代の資料を読解し、その内容について議論できるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message> 日本語およびコリア語の歴史資料の読解に興味がある学生。コリア語が読めることが望ましい。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

31800123-000 日朝関係史論 講義 今出川 秋 水・4 日本語

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 太田 修

<概要/Course Content Summary>日本と朝鮮半島の関係史にかかわる論点を中心に考える。あつかう時期は、日本の植民地支配から現在までとし、1945年以前と以後を行き来しながら考えることを重視したい。また、単に、日朝関係ということだけではなく、東アジア史、世界史の中で考えるよう努めたい。とくに今回は、帝国と植民地支配、脱植民地下、戦争と社会、冷戦、「過去の克服」、民主革命、レイシズムなどのイシューについて議論しつつ、日朝関係を検討する。参加者には各テーマに関する文献を読解、報告してもらい、議論を中心に進める。

<到達目標/Goals, Aims>日朝関係を東アジア史、世界史の中で理解し、議論できるようになる。朝鮮半島を研究テーマとしない参加者は、各自の研究テーマをより深いところで理解し、議論できるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>戦争と社会、とりわけアジア・太平洋戦争期の日本、朝鮮に関心がある学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

31800121-000 近現代の中国 講義 今出川 秋 木・2 日本語

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 村田 雄二郎

<概要/Course Content Summary>21世紀になってグローバル・パワーとしての中国の存在感は高まるばかりである。「一带一路」戦略はもとより、2018年からは米中対立が激化し、両国は軍事・経済のみならず、サイバー・海洋・宇宙等の領域における覇権争いに突入した。中国が世界の「中心」的パワーとなりつつあることは、いまや否定し難い事実である。他方、ウイグル族への人権侵害、香港の抗議活動など、強権的な一党支配をめぐるせめぎあいも、国際社会の注視的となっている。

中国の現状と行方を知るには、まずは中国共産党が政権を掌握し、一党支配体制を確立する歴史プロセスを理解することが肝要である。本講義では、中国近現代史研究の最新成果を整理・紹介しながら、伝統/近代/現代の三層構造と連続/切断の交錯を切り口にして、政治・社会・文化・思想など幅広い側面から中国近現代史を総体的に講じる。対象となる時期は、(1) 中国中心の世界秩序が崩れ、民族国家への自覚が生じる 19世紀半ば～20世紀初頭までの清末期、(2) 辛亥革命を経て中華民国が成立し、さらに国民革命・日中戦争・国共内戦の激動が連鎖して起こる 20世紀前半期、そして (3) 中華人民共和国が成立して社会主義集団化路線が採られるものの、文化大革命を経て、改革・開放へと国策が大きく転じる 1950～80年代の時期、に大別される。講義では、主に (2) (3) の時期を扱うが、歴史的事象を追うことで、持続する中国の政治文化、社会構造の特質とは何か、という基本的な問いを提起してみたい。授業は講義形式ですすめるが、講義内容に関わる映画やドキュメンタリーを見て、視覚的な理解を深めることとする。

<到達目標/Goals, Aims>中国近現代史に関する基本的な理解を深めるとともに、長期的な時間幅で中国の政治や社会を理解する作法を習得し、メディアで日々接する膨大な各種中国「情報」を自らの頭で分析・評価する思考力を鍛える。

<担当者からのメッセージ/Message>東アジアの近代史について興味のある学生。基礎知識は問わない。現代漢語の能力はとくに必要としない。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

30305991-009 大学院特殊講義（アメリカ史における最高裁の役割） 講義 今出川 秋 集中 日本語

法学研究科 私法学・公法学専攻 阿川尚之

<概要/Course Content Summary>本科目「大学院特殊講義 A（アメリカ史における最高裁の役割）」では、アメリカ合衆国とその憲法（以下「合衆国憲法」）の歴史を通じて、アメリカ合衆国最高裁判所（以下「合衆国最高裁」）が果たしてきた歴史を分析し、理解する。すなわち、アメリカ史を通じて生じたさまざまな政治的・社会的・文化的な事件や紛争を、合衆国最高裁がどのように憲法問題として取り上げ、憲法の条文を適用し解決してきたかを、主として合衆国最高裁の判例を通じて検討する。その意味で本科目は、単に連邦憲法そのものの歴史だけでなく、合衆国最高裁の歴史、より具体的には同裁判所による連邦憲法の解釈の歴史を取りあつかう。

<到達目標/Goals, Aims>合衆国憲法と合衆国最高裁の歴史を、主として憲法判例を通じて学ぶことによって、アメリカ合衆国で生じてきたさまざまな事件や紛争を、合衆国最高裁が憲法上どのように解釈し解決してきたかを理解できるようになる。また合衆国最高裁の役割と州や他国の最高裁判所の役割を比較検討することによって、比較憲法の視点が身につく。さらに合衆国最高裁の判例を原文で詳しく読み分析することによって、他の学問分野にも応用が可能なアメリカの法律的な思考力と論理力が身につく。

<担当者からのメッセージ/Message>アメリカ社会の政治、社会、経済、文化などの分野で、法律、特に憲法が占める位置に興味のある人。2020年の大統領選挙の過程で見られたとおり、アメリカで生じるさまざまな政治的・社会的・文化的な事件や紛争の解決において、合衆国憲法と合衆国最高裁が果たす役割に特段の興味と関心がある人。法律や憲法に特別の知識がなくても、他の学問分野との関連においてより一般的にアメリカの政治や社会に関心がある人。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 若干名

30306006-001 Japanese Constitution (From a Comparative Perspective) 講義 今出川 春 集中 English

法学研究科 私法学・公法学専攻 阿川尚之

<概要/Course Content Summary>This course will survey and analyze the Constitution of Japan (the "Constitution") and its application to various political, economic, social and other problems and conflicts that occur in Japan. It will undertake this task from historical and comparative constitutional perspectives. It will mainly focus on the heavy American influence on the drafting and subsequent interpretation of the Constitution, but it will also compare various aspects of the Constitution with constitutions of other countries.

<到達目標/Goals, Aims> Students taking this course are expected to acquire a basic understanding of the history and substance of the Constitution of Japan. They should be able to form a frame of reference through which to further deepen their understanding of the Constitution and constitutions of the United States and other countries from historical and comparative perspectives.

<担当者からのメッセージ/Message> 日本国憲法を比較憲法の視点から英語で学ぶことに興味がある人。Those students who are interested in understanding the Constitution of Japan from a comparative constitutional perspective.

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 若干名

18

30305938-000 企業人事と労働法 講義 今出川 春 水・2 日本語

法学研究科 私法学専攻 土田 道夫

<概要/Course Content Summary> 企業人事と労働法をめぐるテーマに関する共同研究を行い、問題発見能力と解決能力を修得することを目標とする。「働き方改革」をはじめ、多くの労働立法の制定・改正が相次ぐ中、企業の人事管理においては、労働法に関する十分な知見が必須となっている。本科目では、こうした観点から、広く企業等で働くことを目指す受講生を対象に、理論・実務の両側面から企業人事・法務能力を修得することを目指す。具体的事例（ケーススタディ）を用いて実践的能力の養成を行う。2019年度に取り上げたテーマは、従業員のキャリア形成、成果主義人事、従業員のプライバシー、ワーク・ライフ・バランス、ホワイトカラー・エグゼンプション、メンタルヘルス、女性の活躍推進、競業避止義務、同一労働同一賃金、能力不足を理由とする解雇、内部通報・公益通報・内部告発等々である。

<到達目標/Goals, Aims> 受講生は、本科目を受講することにより、企業人事と労働法をめぐる基本能力を養うとともに、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、ディベート能力、問題発見・解決能力を養成することができる。

<担当者からのメッセージ/Message> 人事管理論、企業人事部門への就職、「働き方改革」、労働法（労働契約法・労働基準法・男女雇用機会均等法など）に関心のある学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

19

30305939-000 企業法務と労働法 講義 今出川 秋 水・2 日本語

法学研究科 私法学専攻 土田 道夫

<概要/Course Content Summary> 企業法務と労働法をめぐるテーマに関する共同研究を行い、問題発見能力と解決能力を習得することを目標とする。経済社会の変化に伴い、企業法務と労働法が交錯するケースが増えている。企業組織の再編・M&A、知的財産管理、企業間契約管理、国際法務、企業情報・個人情報管理、倒産法務においては、それぞれ、労働法と会社法・知的財産法・民法・国際私法・情報法・プライバシー法・倒産法が関連し、交錯する。本科目では、こうした観点から、企業法務部門を目指す受講生を対象に、理論・実務の両側面から企業法務能力を修得することを目指す。具体的事例（ケーススタディ）を用いて実践的能力の養成を行う。2019年度に取り上げたテーマは、事業譲渡・会社分割、株式取得型 M&A、コーポレート・ガバナンス、不正競争防止法・守秘義務、競業避止義務、職務発明・職務著作、国際的労働契約における準拠法の決定、約款規制と就業規則、企業情報管理等々である。

<到達目標/Goals, Aims> 受講生は、本科目を履修することにより、企業法務と労働法をめぐる基本能力を養うとともに、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、ディベート能力、問題発見・解決能力を養成することができる。

<担当者からのメッセージ/Message> 企業法務部門への就職、労働法、企業法（会社法・知的財産法・国際私法・倒産法など）に関心のある学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

20

30335551-000 労働法演習 I 1 講義 今出川 春 火・5 日本語

法学研究科 私法学専攻 土田 道夫

<概要/Course Content Summary> 労働法に関する重要判例を取り上げ、受講生の法的思考能力を養成することを目標とする。最新の労働判例の中から、重要な論点を提起するものや、先端的論点に関するものを選択し、演習形式で共同研究を行う。

<到達目標/Goals, Aims> 受講生は、本科目を履修することにより、判例・裁判例を批判的に検討しつつ、法律実務能力を養成することができる。

<担当者からのメッセージ/Message> 労働法・労働判例に関心のある学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名以内

21

30335552-000 労働法演習 I 2 講義 今出川 秋 火・5 日本語

法学研究科 私法学専攻 土田 道夫

<概要/Course Content Summary> 労働法に関する重要判例を取り上げ、受講生の法的思考能力を養成することを目標とする。最新の労働判例の中から、重要な論点を提起するものや、先端的論点に関するものを選択し、演習形式で共同研究を行う。

<到達目標/Goals, Aims> 受講生は、本演習を受講することにより、判例・裁判例を批判的に検討しつつ、法律実務能力を養成することができる。

<担当者からのメッセージ/Message> 労働法・労働判例に関心のある学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名以内

61200608-000 信託法 講義 今出川 春 水・6 日本語

司法研究科 法務専攻 佐久間 毅

<概要/Course Content Summary>本講義は、公益財団法人トラスト未来フォーラムによる寄付講座として開講されるものである。信託制度の社会的重要性が増し、法律実務家にとって信託制度及び信託法を理解しておく必要性が高まっている。そこで、信託に係る法律関係の処理、信託の実務利用等に携わるための基礎となる知見を獲得させることを目指し、信託制度及び信託法を概説する。信託は受講生の多くにとって馴染みの薄い制度と思われるため、事例を数多く挙げ、民法、会社法等の類似の制度との異同又は関連性を強く意識して解説する。また、信託の法務または実務に現に携わる実務家をゲストスピーカーに招き、現在の社会における信託制度と信託法の意義を知る契機とする。

<到達目標/Goals, Aims>受講者が、信託という制度とそれに関する法、実務の概要を理解し、将来自ら信託を利用し、または信託の関係当事者となる場合の基礎知識を得ることを目標とする。

<担当者からのメッセージ/Message>社会における様々な問題の克服に役立ちうる実践的制度に関心を有する者であれば、誰でも受講を歓迎する。受講に際して、民法及び会社法等の私法に関する基本知識を有していることが望ましいが、必須ではない。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

30315035-000 政治過程5(比較政治) 講義 今出川 秋 金・3 日本語

法学研究科 政治学専攻 力久 昌幸

<概要/Course Content Summary> 民主主義は危機に直面しているのでしょうか。2016年の大統領選挙でポピュリズムの波に乗ってドナルド・トランプが当選して以来、かつて民主主義が崩壊した事例において見られた前兆が再びあらわれつつあるという見方もあります。なお、トランプは2020年の大統領選挙で敗退しましたが、それは今後も民主主義が安泰であるということの意味するのでしょうか。

近年、民主主義の危機を懸念する声が高まっているように見えます。東欧諸国では権威主義的な政権が民主主義を支える諸制度を攻撃し、西欧諸国でも排外主義を掲げる右派ポピュリズム政党が急速に支持を伸ばしています。

このように近年、懸念されるようになっていく民主主義の将来について考えるために、昨年度に引き続き今年度の授業でも、民主主義の危機について考察したテキストを講読することにします。『民主主義の壊れ方』というショッキングなタイトルをつけたテキストを講読することで、民主主義が瓦解する可能性について考えていきたいと思えます。

なお、受講者と相談のうえ、民主主義理論や民主主義体制の崩壊に関連する英語文献を講読することも考えています。

<到達目標/Goals, Aims>民主主義に関する知識を深めたいうえで、先進諸国における民主主義体制の現状について一定の理解を持つようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>政治学に関する基本的な概念や理論について学習し、ある程度の基礎知識を持っている学生。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 若干名

30315044-000 政治史4(ヨーロッパ政治史1) 講義 今出川 春 金・3 日本語

法学研究科 政治学専攻 力久 昌幸

<概要/Course Content Summary> 近年、多文化主義の概念について関心が高まっているように思われます。異なる文化を持つ集団が存在する社会において、それぞれの集団を「対等な立場で」扱うべきという多文化主義にもとづく政策は、1970年代にカナダとオーストラリアで実施されるようになり、その後、イギリス、スウェーデン、アメリカなどでも導入されるようになりました。日本でも外国人定住者の増加とともに、都市部の自治体を中心として多文化共生の理念に基づく政策がとられるようになっていきます。その一方で、21世紀に入って移民・難民問題が争点化するとともに、欧米諸国の中では多文化主義に対する反発や揺り戻しの動きも見られるようになりました。

そこで、今年度の授業では、『多文化主義の政治学』というタイトルのテキストを講読することにします。このテキストは、多文化主義の政治理論に関する類型化を行ったうえで、多文化主義の議論の中で取り上げられることの多いアメリカ、ベルギー、フランスの三カ国に、多文化主義との関連でこれまで言及されることの少なかったドイツ、ロシア、旧ユーゴスラヴィアの三カ国を加えた事例研究がなされています。このテキストを講読することで、多文化主義の持つ政治学的な意義と問題点について、多角的・総合的な理解を深めていきたいと思っています。

なお、受講者と相談のうえ、多文化主義に関連する英語文献を講読することも考えています。

<到達目標/Goals, Aims>多文化主義に関する知識を深めたいうえで、多文化主義の有する政治学的な意義と問題点について一定の理解を持つようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>政治学に関する基本的な概念や理論について学習し、ある程度の基礎知識を持っている学生。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 若干名

30770042-000 地方自治論研究 講義 今出川 春 火・6 日本語

総合政策科学研究科 総合政策科学専攻 野田 遊

<概要/Course Content Summary>地方自治や地方行政に関する論文や書籍のトピックスについて参加者からの報告と議論を重ね、政策課題や立案過程、実施過程、あるいは政策の評価について検討し、現実の行政活動と自治について理解を深める。

<到達目標/Goals, Aims>地方自治のあり方について検討することを通じて、現実の行政や政治における問題探索能力を養う。

<担当者からのメッセージ/Message>地方自治や地方の政治、行政、活性化に関心のある学生。公務員志望や政治家を志す学生も歓迎。行政学や政治学の知識があるのが望ましいが必須ではない。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 若干名

26

31800139-000 グローバル化と格差問題 講義 今出川 春 木・5 日本語

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 菊池 恵介

<概要/Course Content Summary>近年アメリカやヨーロッパでは、トランプ大統領の誕生、イギリスの EU 離脱、フランスの国民戦線 (FN) やドイツのための選択派 (AFD) などの排外主義政党の躍進など、既存政治のドミノ倒しもいえる混乱が続いている。このような現象が、世界的に拡大している背景には何があるのか。この授業では、まず福祉国家の形成史を振り返った上で、世界経済のグローバル化に伴う階層格差の拡大、投機マネーによるバブル経済の頻発、リーマン・ショック後の緊縮政策の影響など、近年の世界的なポピュリズム台頭の背景を探る。

<到達目標/Goals, Aims>階層格差の拡大とバブル経済の仕組みが説明できる。

<担当者からのメッセージ/Message>グローバリゼーションに伴う階層格差の拡大や金融危機などに関心がある院生。とくに基礎知識は問いません。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

27

30413010-000 経済解析 講義 今出川 秋 木・3 日本語

経済学研究科 理論経済学専攻 落合 仁司

<概要/Course Content Summary>現在先端を走る経済学は行動経済学と制度経済学である。行動経済学は人間の行動を駆動する欲動を、制度経済学は人間の行動を拘束する構造を探究する。この人間の欲動を探究する端緒にフロイト主義が、社会の構造を探究する端緒に構造主義がある。本講義はこのフロイト主義と構造主義をフランス現代思想の文脈において一望した上で、その数理的な表現の可能性を考察する。受講者は人間の欲動や社会の構造といった人文社会科学の本来的な対象が数理的に表現される瞬間を目の当たりにして、数理の威力に魅了されるに違いない。

<到達目標/Goals, Aims>人間の欲動と社会の構造を数理的に表現できるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>経済解析について学びたい学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

28

30403111-000 行動経済学 講義 今出川 春 火・2 日本語

経済学研究科 理論経済学専攻 八木 匡

<概要/Course Content Summary>本講義では、行動経済学の基礎を、大垣・田中著の『行動経済学』を基に、演習形式で議論していく。行動経済学は、経済主体の行動が合理性からシステマティックに乖離する現象を、心理的要素を考慮することにより説明することを一つの目標としている。このような事例は、医療経済学分野で早い段階から指摘され、研究が進められてきている。しかしながら、近年になり、行動経済学を幸福感分析、労働経済学、ファイナンスといった幅広い分野に適用されるようになってきており、経済学の基本的な分析手法として認知されるようになり、急速に発展してきている。この行動経済学の基本的枠組みを学ぶことが本講義の目的となっている。

<到達目標/Goals, Aims>行動経済学の基本を理解し、様々な問題に適用する能力を養成する。そして、現在の日本が直面している問題に対して、行動経済学のアプローチによって分析し、適切な政策提案ができるようになることを目的としている。

<担当者からのメッセージ/Message>ミクロ経済学の基礎知識を持っていると理解は容易かと思えます。基礎から学びます。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

29

30423008-000 コミュニティの経済学 講義 今出川 春 集中 日本語

経済学研究科 応用経済学専攻 横山 勝彦, 八木 匡

<概要/Course Content Summary>今、現代社会は、「第四の波」にのみ込まれつつあるという。「第四の波」とは、ダニエル・ピンクが指摘する、情報化社会から新しい概念を提示できる者のみが高い所得を得ることができるコンセプチュアル社会への移行である。このような状況の中、合理的個人の最適行動を想定して議論をすすめてきた経済学も、確率的に理論から逸脱する例外現象を無視せず、心理的特性まで含めて説明しようとする動向にある。本科目は、それらを検討する事例として、合理性だけでなくパフォーマンスに決定的な役割を果たす場合もある心理的要素が与える影響が大きいスポーツを取り上げ、コミュニティが抱える多くの課題への解決を考えるものである。換言すれば、経験価値創造の源泉を生み出すスポーツの果たす社会・経済的役割を考えることとなる。具体的には、次の授業計画通りの展開であるが、ゲストスピーカーとして、経済や政策の研究者と企業や元アスリートといった実務者を招き、多角的な視点から論じる。

<到達目標/Goals, Aims>スポーツを事例とする本講義により、創造経済が成り立つ基盤そのものである人間性の本質への理解度が高まり、今後のコミュニティのあり方についての課題発見力・創造力・理論的分析力・総合的判断力が身に付くようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>特に基礎知識は不要です。コミュニティ形成のメカニズムを考えます。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

30

30403105-000 経済学史 講義 今出川 春 木・3 日本語

経済学研究科 理論経済学専攻 西岡 幹雄

<概要/Course Content Summary>社会において、もっとも身近で基本的な経済が理解しにくいのは、その根底にある考え方や背景がどのような経緯を経て、今日、形成され発展してきたのかをたどらないままに対処するからです。社会にとって、土台となる経済の発展、その背後にある考え方や経済学の形成を研究します。とくに経済社会のリスクをいかに克服してきたかに着

目しながら、これを支える内部事情と外部環境、そしてその背景を考えるうえで、どのような視点が重要なのかも取り上げていきます。

<到達目標/Goals, Aims>積極的にかかわる姿勢を求めます。経済社会現象に必然的なリスクを回避して、いかに成長と信頼を確保するかを自らに取り込んでおくことは、その後、研究の道に進んでも、あるいは高度な専門職に就いても、必須の知的武装となります。経済学の形成と展開を考えることは、AI に負けない将来のための武器です。経済学史では、そうした側面にも注意を払い、多様で統一感のある自分が組み立てることをめざします。

<担当者からのメッセージ/Message>経済社会というあり方について多角的にアプローチし、人間社会・文化・歴史の共通の本質と現れ方に関心を寄せる学生の皆さんとともに組み立てたい。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

31

30414008-000 経済思想史 講義 今出川 秋 金・2 日本語

経済学研究科 理論経済学専攻 西岡 幹雄

<概要/Course Content Summary>社会において、もっとも身近で基本的な経済が理解しにくいのは、その根底にある考え方や背景がどのような経緯を経て、今日、形成され発展してきたのかをたどらないままに対処するからです。社会にとって、土台となる経済の発展、その背後にある経済思想を研究します。経済の形成と展開は、直面するリスクを克服して、政治・経済・社会を安定的に発展させるための歩みでした。たしかに、その起源は欧米、とりわけいち早く産業革命を成し遂げた英国・西ヨーロッパにあります。しかしながら、経済の形成と展開を考えるフレームワークは、なにも欧米の枠組みに限定できません。とくに日本発の自己認知と合理性から裏づけられた、多様な産業と企業の活動、知識と付加価値を生み出すための工夫と思想は、内外のマクロ的激動を考えていくうえで、きわめて重要です。ここでは、英国・西ヨーロッパの枠組みの中で誕生した経済思想と、それに影響されながらも、日本の革新と伝統の中で生まれた「経済」的思考に着目していきます。

<到達目標/Goals, Aims>積極的にかかわる姿勢を求めます。経済社会現象に必然的なリスクを回避して、いかに成長と信頼を確保するかを自らに取り込んでおくことは、その後、研究の道に進んでも、あるいは高度な専門職に就いても、必須の知的武装となります。日本経済の形成と展開を考えることは、AI に負けない将来のための武器です。経済思想史では、皆さんにとって、現代と世界を生きるうえで、どのようなことがもっとも不可欠なのかを、自分で組み立てることをめざします。

<担当者からのメッセージ/Message>経済社会というあり方について多角的にアプローチし、人間社会・文化・歴史の共通の本質と現れ方に関心を寄せる学生の皆さんとともに組み立てたい。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

32

30403103-000 基礎計量経済学 講義 今出川 春 火・3 30%英語

経済学研究科 理論経済学専攻 八木 匡

<概要/Course Content Summary>本講義では、統計分析、計量経済学的手法を用いて、質的データおよび量的データの分析方法を学んでいく。そのため、統計学および計量経済学に関する理論的な学習を行い、データを用いながらどのように統計学および計量経済学が実証分析で活用されているかを示す。本講義は、経済学研究科 PSE(Professional Study in English)の科目となっております。講義の中での英語使用は、受講者構成を見て判断しますが、全体に 3 割を英語で行うことを予定しております。

<到達目標/Goals, Aims>統計学の基本的考え方が理解でき、推定・検定の理論と手法を経済分析の中で活用できるようにする。計量経済学の基本的分析法である最小二乗推定に関する理解を正確に持ち、具体的にどのような計量経済学的分析、数量分析が可能であるかを理解し、自分の研究テーマの中で、実際に数量分析を適用できる能力を養成する。

<担当者からのメッセージ/Message>統計学の基礎知識を持っていると理解は早いです。講義は基礎から行います。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

33

30423006-000 格差社会論 講義 今出川 秋 集中 日本語

経済学研究科 応用経済学専攻 八木 匡

<概要/Course Content Summary>格差および所得分配の問題は、労働意欲、国民の間の競争意識などと強い関係を持ち、経済の成長と社会の安定に多大な影響を与えてきた。本講義では、静学的所得分配状態の評価方法から出発し、動学的所得分配論と所得分配と経済成長との関係についてこれまでの研究をサーベイすることを目的とする。これまで格差および所得分配の問題は、1) ある一時点での分配の不平等度を測り、分配状態を評価する、2) 分配の不平等度の時間変化を測定し、異時点間および世代間での不平等度の伝播を明らかにする、3) 所得再分配政策の分析と評価、4) 分配状態に強い影響を与える公共政策の分析と評価、といった点から考察されてきた。本講義では、1) のような、ある一時点での所得分配状態を分析することを「静学的分析」、2) の異時点間での不平等度の伝播に焦点を置く分析を「動学的分析」と呼び、所得分配状態の評価の方法を再検討していく。3) および4) の問題は、静学的分析と動学的分析の2つの視点によって考察される。特に、動学的視点に立った所得再分配政策の分析はこれまであまり行われておらず、本講義ではこの点に大きな比重を置きながら議論を進めていく。また、所得分配と幸福感との関係を分析し、格差社会のもつ問題点を明確にすると共に、所得分配と経済成長との関係を分析することにより、格差社会と効率性との関連についても分析していくことにする。

<到達目標/Goals, Aims>格差の測定手法についての理解を行い、静学的分析と動学的分析の基礎を学び、格差社会を理論的および実証的に研究する能力を形成する。

<担当者からのメッセージ/Message>特に基礎知識は不要です。日本における経済格差が生まれるメカニズムを学びます。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

34

30414005-000 開発経済 講義 今出川 春 金・4 日本語

経済学研究科 理論経済学専攻 上田曜子

<概要/Course Content Summary>開発経済学は、途上国の貧困問題の解決を目的とする学問分野であり、多様なテーマについて研究が行われている。2021年度は「人的資本」および「所得分配」の2点をテーマとして取り上げる。

本講義では最初に、世界銀行(World Bank)が2018年に発表した「人的資本指標」(HCI: Human Capital Index)について学ぶ。テキストとして、World Bank, The Human Capital Project (2018)を購読する。

このテキストを終了後に、「所得分配」に関して、IMF (国際通貨基金), Fiscal Monitor, October 2017: Tackling Inequalityを購読し、所得分配を是正するための財政政策について学ぶ。

①人的資本について

経済学では、労働者としての質を人的資本と呼ぶ。人的資本の量は、一般的に知的能力と健康状態によって決まる。より多くの教育や職場での訓練を受けた人、適切な運動や栄養管理を実践する健康な人は、この人的資本の量が多いとされる。この人的資本に関して世界銀行の前総裁ジム・ヨン・キムは、「最貧困層にとっては、人的資本が唯一の財産である場合が多い。人的資本はまた、持続可能で包括的な経済成長の重要な推進力である」と述べている。世界銀行は、人的資本に対する投資が過少となっていることを懸念して、人的資本に関するプロジェクトを開始した。その成果が、本講義で使用されるテキストである。

②所得分配について

途上国にとっての最優先課題は、経済成長・経済発展であるが、問題となるのは成長と平等の両立である。所得分配の悪化を放置したまま、経済成長を優先させると、経済成長から取り残された国民が不満を持ち、それは政治的混乱を引き起こす要因となりかねない。公平性を保ちつつ経済成長を志向しなければ、成長は持続しない。

今回テキストとして取り上げる IMF のレポートでは、所得格差を是正するための財政政策として、(1) 累進的な所得課税 (2) ユニバーサル・ベーシックインカム(UBI, 全国民向け最低生活保障) (3) より公平な教育と保健医療を達成するための公共支出政策 に焦点があてられる。

またこのレポートでは、先進国における所得分配の問題についても言及している。先進国においては、近年、所得分配が悪化し、それが反グローバリゼーションや自国優先主義の拡大につながった。本レポートはこれに対する一つの解決策を財政政策の観点から示してくれる。

<到達目標/Goals, Aims>開発経済学に関する専門的な知識を習得することができる。また、英文の読解力や英文和訳のスキルを身につけることができる。

<担当者からのメッセージ/Message>途上国問題に関心のある学生を歓迎する。経済学の基礎を理解していることが望ましい。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

35

30403110-000 文化経済学 講義 今出川 春 火・5 30%英語

経済学研究科 応用経済学専攻 河島 伸子

<概要/Course Content Summary>「文化」は、経済とは相容れないもの、と考えられがちである。しかし、歴史的に見ても、文化は常に経済的なバトロンを必要としてきた。近年では、文化の経済活動に対する貢献への関心も高まるなど、文化と経済との関係には多様な側面が見られる。本講義においては、芸術文化や文化遺産などの「記録された文化」が、どのように生産・流通・消費されているのか、その仕組みを探っていく。文化経済学の理論以外に、社会学や政策科学も利用していきたい。3回目あたりから、受講生は、各文献(英文を含む)を担当し、その内容を報告した上で、議論する形で授業を進める。また、学期の最後1~2回には、学生が関心を持つ特定の非営利文化や営利文化産業についての発表と討論をする予定で進める。なお、受講生の多くが本学経済学部で「文化経済」を履修済みである場合には、いくつかのテーマについて毎週学生の発表を中心として進めることも想定している。初回に、どのような進め方をするかを相談の上、決定していく。本科目は PSE 科目であるため、英語の文献購読、英語での学生プレゼンテーション等を含む。詳細は受講者の英語レベル、希望等をきいた上で決定する。学期の終わりの回では、各学生が興味を持つコンテンツ産業のテーマにつき、調査した結果を発表してもらい、議論をする。

<到達目標/Goals, Aims>学生は、文化経済、文化政策、コンテンツ産業マネジメントの分野における重要な論点について、基本的な理解を深め、分析能力を身につけることができる。

<担当者からのメッセージ/Message>文化のマネジメント、観光、文化外交などに関心がある方も歓迎です。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

36

30770104-000 開発政策論研究 講義 今出川 春 水・6 日本語

総合政策科学研究科 総合政策学専攻 新見 陽子

<概要/Course Content Summary>開発途上国が抱える様々な課題を経済学的な観点から考察する。具体的には、開発経済学の基礎概念や理論を学ぶことに加え、過去および最近の世界情勢や各国の具体例、これまでに行われてきた実証分析の結果などを概観しながら、開発問題に対する理解を深める。また、開発問題における政策課題や援助プログラムのインパクト評価の重要性などについても議論する。

<到達目標/Goals, Aims>開発分野において必要とされる基礎知識や概念、理論などを習得し、開発途上国が直面する課題を客観的・論理的に考察し、自分なりの意見を形成するのみならず、ディスカッションに積極的に参加できるようになることを目標とする。

<担当者からのメッセージ/Message>途上国の開発問題に関心のある学生。必須ではないが、経済学の基礎を有することが望ましい。授業は日本語で行うが、参考文献は英語の文献となる。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 若干名

31800117-000 中国経済論 講義 今出川 秋 金・3 日本語
グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 巖 善平

<概要/Course Content Summary>近年、中国は経済史上まれな高度成長を実現した。今後の中国は世界経済のプレイヤーとしてますます重要な役割を果たしていくと予想される。日本との関係からいうと、資本、市場、技術などにおいて両国の相互依存関係がいつそう緊密化するだろう。社会主義計画経済から脱皮し、市場化、国際化を二輪とした経済発展はどのような軌跡をたどったのか。「世界の工場」から「世界の市場」へ移行しつつある中国だが、中に目を向けると、経済格差、環境汚染、腐敗など、問題が山積みであることも分かる。

<到達目標/Goals, Aims>この講義では、中国経済を多面的に理解し、これまでのパフォーマンス、現存する問題を明らかにし、将来展望を試みる。この講義を受けることで、中国経済の過去、現在と未来を総合的に捉える力を養うことができよう。

<担当者からのメッセージ/Message>中国経済の基本構造と高度成長のメカニズムについて解説します。関心のある院生の履修を歓迎します。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

30403112-000 社会政策 講義 今出川 春 金・3 30%英語
経済学研究科 理論経済学専攻 山森 亮

<概要/Course Content Summary>この授業の目的は、(1) 社会政策・福祉国家（とその研究の）現状と課題について、大まかな見取り図を得るとともに、(2) 社会政策研究にかかわる重要な論点（価値中立性の問題、未だ存在していない制度構想をどのように扱うか、経済学研究科で社会政策を学ぶことの意義と困難など）について議論すること、(3) PSE 科目の一環として開講されることに鑑み、英語で社会政策について論じることができるようになること、の三つである。この三つを同時に行うために、社会政策の鍵概念でありながら、経済学においてほとんど理論的に取り上げられることのなかった「必要」概念について論じた、フェミニスト経済学に関する英語文献をおもにテキストとして使用する。

<到達目標/Goals, Aims>学生が、自らの価値前提を意識することを通じて、異なる価値前提に基づく研究への接し方を学び、先行研究を消化しながら自ら問題設定をして研究を進められるようになること。学生が、自らの問題意識に基づいて、英語で書かれた学術論文を読み込めるようになること。

<担当者からのメッセージ/Message>英語の学術論文・モノグラフを読むことができ、日本語ないし英語で議論をする能力があれば、特別な経済学の知識は必要ない。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

30562171-000 国際金融論 講義 今出川 秋 木・1 日本語
商学研究科 商学専攻 服部 茂幸

<概要/Course Content Summary>現代はグローバル金融資本主義の時代でもある。2008年のアメリカ発のサブプライム危機が世界同時不況を引き起こしたことはみなさんも知っているであろう。本講義では日本、アメリカ、ユーロ圏など世界各国の経済問題を国際金融の視点から論じる。本講義は現状の説明が主であるが、説明を理解するためには最低限の理論的素養が必要とされる。

<到達目標/Goals, Aims>各国の経済の問題、特に国際金融に関する問題を経済学の理論によって理解できるようになる。国際経済学の理論を用いて、国際金融と経済のデータを分析することができるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>アメリカのトランプ大統領の登場、日中貿易戦争、イギリスの EU 離脱、日本のアベノミクスと異次元緩和など、今、世界経済は大きく動いている。こうした世界の情勢を知ることは、経済学や国際金融を専門とするひとだけでなく、広く社会科学を学ぶ上で重要な意味があると考えます。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5~10名程度

30414002-000 アジア経済史 講義 今出川 春 木・4 日本語
経済学研究科 理論経済学専攻 横井 和彦

<概要/Course Content Summary>1978年末の「改革・開放」以来、中国は「社会主義市場経済」という独特のシステムの下で著しい経済成長を遂げてきている。それは、「社会主義」と「市場経済」という一見水と油の関係に見える2つの制度の「混合」の下で動いてきているものだけに、政治経済の現局面を正確に理解しようとする場合、そこで必要とされる学問的営為は決して単純なものではないし、平易なものでもない。本講義ではこうした水面下での膨大な「作業」を学び取ることを目的とする。

<到達目標/Goals, Aims>現代中国経済史をテーマとする研究論文を作成するプロセス（歴史的分析の方法、研究状況の把握、研究課題の絞り込み、資料の収集・分析など）を身につけ、修士論文を書くことができるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>中国社会・経済を対象に人文・社会科学的手法による研究を進めたい学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

30561502-000 組織論 講義 今出川 春 月・5 日本語
商学研究科 商学専攻 佐藤 郁哉

<概要/Course Content Summary>組織構造論ないしマクロ組織論と呼ばれる分野の組織理論の基礎知識について学習していく。シラバスに記載した2点の文献（英語）の輪読が中心になる。また、特定の組織現象を扱った研究論文や著作について検討していく。特に組織理論の古典的著作の重要な箇所について丁寧に講読していく。

<到達目標/Goals, Aims>組織理論の基礎が理解できる。最新の組織理論の根底にある基本的な考え方の違いを見きわめることができるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>社会科学系の学生を想定しています。輪読にあたっては全員がその週の該当箇所を読了していることを前提とします。「ローテーションで分担を決めて、担当以外の部分はほとんど読まない」というような対応が無いようにしてください。なお、シラバスに記載したテキスト2点（一方は絶版ですが、図書館に所蔵されています）に予め目を通した上で履修を決定することを臨みます。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 3~5名程度

42

31800120-000 日中関係史論 講義 今出川 春 木・2 日本語

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 村田 雄二郎

<概要/Course Content Summary>19世紀末から今日に至る近現代の日中関係史を、日本と中国双方で書かれた原典（おもに評論や旅行記など）を通じて学ぶ。日本人の中国認識、中国人の日本認識がそれぞれどのように交差し、またずれ違ったのか、双方が構築した他者像は自己像といかに関わっていたのか、さらに、日中の知識人の関心や論点はいかに推移したのか、などを大きく5つの段階に分けて論じていく。授業は講義を軸に、受講者による報告や討論も交えながら進める。テキストは日本語のものを用いるので、古典・現代中国語の能力は必要としない。

<到達目標/Goals, Aims>近現代の日中関係史に関する基本的な理解を深めるとともに、メディアで日々接する膨大な各種中国「情報」を自らの頭で分析・評価する思考力を鍛え、複雑に展開する今後の日中関係を考える上での基本的視座を獲得する。

<担当者からのメッセージ/Message>歴史や国際関係論に関心のある学生。近現代の日本史、世界史の基礎知識があることが望ましいが、必須ではない。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

43

31830212-000 レイシズム研究 講義 今出川 秋 木・5 日本語

グローバル・スタディーズ研究科 グローバル・スタディーズ専攻 菊池 恵介

<概要/Course Content Summary>第二次大戦後、ナチス・ドイツによるホロコーストの衝撃を経て、「人種」の優劣を語ることはタブーとみなされるようになった。だが、ヒトラーの『わが闘争』などに記された人種理論は、彼自身が発明したものではなかった。それは南北アメリカ大陸やアフリカなどを征服していく過程で、西洋の名だたる科学者たちによって創り出されたものであり、その影響は現代にも及び続けている。この授業では、どのようにして「人種」の概念が歴史的に形成されてきたのかを振り返った上で、「人種の優劣」よりも「文化的差異」などを強調するようになった現代の人種主義の新たな展開を探る。

<到達目標/Goals, Aims>1) 西洋近代社会が、「アメリカ独立宣言」や「フランス人権宣言」などで、すべての人間の平等を唱える一方、「人種の優劣」を説く理論を必要とした理由が説明できるようになる。2) 現代社会において、住宅・教育・雇用などの面で、どのように差別が再生産されているかを説明できるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>人種主義の歴史や現代の移民排斥などの問題に関心がある院生。とくに基礎知識は問いません。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

44

31702566-000 実験社会心理学特論 講義 京田辺 秋 火・1 日本語

心理学研究科 心理学専攻 及川 昌典

<概要/Course Content Summary>人間の認知、感情、行動の背後には意識の働きがある。かつては誰もがそう信じていた。このような伝統的な人間観とはうらはらに、わたしたちが日常的に下す決定の多くは、実は意識的な熟慮を伴わずになかば自動的に行なわれていることが、近年の社会心理学研究では明らかにされてきている。本講義では、意識と無意識という視点から、社会行動の仕組みを解き明かし、私たちの判断、行動、そして人間関係をよりよく先導するための道筋について考える。

<到達目標/Goals, Aims>先端的な心理学の知識、理論、考え方を習得するとともに、その視点を日常の問題に応用できるようになることを目指す。

<担当者からのメッセージ/Message>実証的な社会心理学の研究結果ならびに研究法について学びたい学生。ただし、心理学に関する講義、心理学研究法に関する講義、心理学統計法に関する講義を受講したことのある学生。英語の専門書や雑誌論文を読みます。パワーポイント資料を作り、発表することが求められます。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

45

31702572-000 学校心理学特論 講義 京田辺 春 月・5 日本語

心理学研究科 心理学専攻 神山 貴弥

<概要/Course Content Summary>本授業では、学校心理学を構成する基本的な領域の中から「適応」、特に社会的な適応の問題を取り上げる。学校適応に関わる基本的なモデルや規定因についての理解を深めた上で、これらに関わる国内外の文献を講読し最新の研究動向を探る。また、これらの研究動向を踏まえた上で、児童・生徒の学校適応を促進する実践的方策について議論を行う。

<到達目標/Goals, Aims>学校心理学における「適応」に関する基本的な考え方を理解し、児童・生徒の社会的な適応・不適応に関する問題についての実践的方策を、最新の研究動向に基づいて考えることができるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>学校適応の問題に関心をもち、教育心理学に関する基本的な知識を有する学生。英語の論文やハンドブック等も講読する。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 3名

31702567-000 学習心理学特論 講義 京田辺 秋 金・2 日本語
心理学研究科 心理学専攻 青山 謙二郎

<概要/Course Content Summary>動物を用いた行動実験を中心に、行動の変容に関するメカニズムに関する理論および方法論について解説する。トピックとしては食行動や衝動性に関する文献の他に、受講生の希望に合わせて取り上げる。学習は、学校における生徒や教師の行動、家庭における親と子の行動をはじめ、人間が行うあらゆる行動の基礎となるメカニズムであるため、その原理の理解は心理学の様々な分野を学ぶ上で重要である。本年度は、Bouton(2016)の Learning and Behavior の輪読を中心に進める予定であるが、受講者の研究課題に応じて柔軟に科目を運営する。

<到達目標/Goals, Aims>学生が、学習に関する研究を理解し、研究計画を立案できる能力を身につける。

<担当者からのメッセージ/Message>学習（特に条件づけ）の行動的研究について学ぶことを欲する学生。学部レベルの学習心理学に関する知識を身につけていることが望ましい。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 3名

30770055-000 消費者政策研究 講義 今出川 春 集中 日本語
総合政策科学研究科 総合政策科学専攻 武蔵 勝宏

<概要/Course Content Summary>現代社会で生活する消費者は、商品・サービスを購入・利用する消費生活において、多くのトラブルや被害に直面する。消費者がこうした被害に遭わずに安心・安全な消費生活を送れるようにするために消費者政策が実施されている。また、近年の消費者政策では、倫理的消費とそれを担う消費者市民社会の形成が重要な理念となっている。本講義では、これまでの消費者政策の理念、法制、行政実施体制等を学ぶとともに、消費者政策の今日的課題と対応の方向を考察する。

<到達目標/Goals, Aims>複雑化、多様化した消費者政策を推進するための知識、態度、技能を習得し、消費者政策の分野での専門人材としての素養を身につける。

<担当者からのメッセージ/Message>私たちが社会で生活していく限り、あらゆる消費者問題に直面します。本科目は、そうした様々な問題への解決に向けた理論と実務を学ぶことを通じて、複雑化、多様化する消費者問題に対応できる消費者政策のエキスパートの養成を目指しています。研究者教員と消費者庁職員(ゲストスピーカー)の協力によって講義が提供されますので、最新の理論や政策の動向を学ぶことができます。文系、理系問わず、大学院生の多くの方に学んでいただきたいと思います。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

31600102-000 専攻共通特殊講義(ナノテクノロジー) 講義 京田辺 春 水・1 日本語
理工学研究科 電気電子工学専攻 大谷 直毅

<概要/Course Content Summary>「ナノ」とはよく耳にする一般的な言葉となったが、これはナノメートル台の微小な物質の「観察」「作製」「加工」が容易になってきてその物理的な面白さと工業製品への応用が可能となってきたことが原因である。しかしながら、ナノテクノロジーとは複合系の広範囲に亘る学問であるため、最近話題の事例のみを概観するとその定義は曖昧となってしまふ。この講義では、ナノテクノロジーに必要な「観察技術」「作製技術」および「加工技術」の基礎を理解し、学生諸氏が実社会においてこれらの技術が必要となったときに応用できるように知識の下地を形成することを目的とする。

<到達目標/Goals, Aims>ナノテクノロジーの基礎となる、観察技術、作製技術、加工技術を理解し、社会に出てこれらの技術が必要となったときに応用できるように知識の下地を形成すること。

<担当者からのメッセージ/Message>上記「概要」と「到達目標」を参照。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

31410110-000 非線形数理特論 講義 京田辺 秋 月・3 日本語
生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻 医工学コース 伊藤 利明

<概要/Course Content Summary>複雑な自然問題に対し、その解析のためにモデル方程式として考案される非線形微分方程式の解法基礎を修得する。できる限り数式処理ソフトを用い現代的な微分方程式の解法技術も修得する。

<到達目標/Goals, Aims>理工学分野で扱う諸問題に対し、数理的アプローチからのモデルの考案、モデルの数理的解析・分析手法の基礎、連続モデルや離散モデル、数値解析的手法を理解できるようになる。特に微分方程式の解法では数式処理による解法の基礎を紹介します。

<担当者からのメッセージ/Message>学部基礎数学レベルの知識と、生命医科学部医工学科の学部講義「応用数理Ⅰ」「応用数理Ⅱ」の内容の復習からはじめる。これら2つの講義で用いたテキストの内容を理解できるレベルを仮定します。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

31511039-000 環境生理学特講 講義 京田辺 春 集中 日本語
スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 福岡 義之

<概要/Course Content Summary>ヒトは進化の過程で、自然環境への合理的な環境適応能を獲得した。この適応能力は、個体発生から死に至るまで時間軸で変化し、生活環境によって修飾される。とくに、近年科学技術の急速な発達とアメニティ(快適環境)の追求に伴い生活環境が大きく変化し、現在および将来においてヒトの生物学的な適応能が減弱し、その老化過程も早期に出現することが懸念されている。このような懸念を打破し、ヒトとして様々な外的環境(低圧・高圧・高温・低温・重力など)や内的環境(老化・栄養・日内)に応じた適切な環境適応能を保持するためには、本来ヒトが獲得した合理的な環境適応能の生理学的機序、およびその時間軸の変化(老化過程)を解明する必要がある。本講義では、興味あるテーマについて実践的

な研究推進の方向性と工業デザインについて学習する。

<到達目標/Goals, Aims>ヒトの人類学的背景と進化の過程で獲得した環境適応の生理人類学的メカニズムを理解することによって、ヒトの人体設計を考慮したアメニティのための工業デザイン設計（居住環境、衣服、福祉用具、照明、生活用品）の能力を獲得できる。

<担当者からのメッセージ/Message>受講生は生理学、生物学、フーリエ解析などの基礎知識を有し、将来工業デザイナーを希望することが望ましい。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

51

31410124-000 有機合成特論 講義 京田辺 秋月・2 日本語

生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻 医情報学コース 太田 哲男

<概要/Course Content Summary>有機化合物は世の中で広く用いられている。その入手法は日々進化しており、いわゆる有機化学で学習する方法論から進化した触媒反応が広く利用されている。本講義は、現在の先端的合成反応を系統的に学習する科目であり、ノーベル化学賞関連の内容も複数登場する。これらを通じて、化学の世界の一つの最先端分野を概観できる。

<到達目標/Goals, Aims>グリーンケミストリー、サステナブルケミストリーなどの環境に配慮した合成手法の一つとして大きな位置を占める有機金属をキーワードとした工業的有機物質の合成に関する基礎知識が身に付く。

<担当者からのメッセージ/Message>有機化学の知識があることが好ましい。しかしながら、適当な知識がない場合でも、就職で化学メーカーに進む場合など、参考になると思われる。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

52

31420013-000 応用化学特論 講義 京田辺 秋水・1 日本語

生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻 医情報学コース 大江 洋平

<概要/Course Content Summary>医薬品をはじめとする生理活性物質は複雑な構造をしているものが多い。そのような複雑な分子を構築するためには、精密有機合成反応と合成経路の設計を習得する必要がある。本講義では、そのような精密有機合成反応の詳細と合成経路の設計法について学び、それらが実際の多段階合成においてどのように活かされているかを学ぶ。

<到達目標/Goals, Aims>（1）人名反応を習得する。（2）反応の選択性の理解する。（3）逆合成解析の理解する。（4）全合成反応の中での（1）～（3）の重要性を理解する。（5）（1）～（4）を通し、目的分子を構築する道筋を自身の力で見出せるようになること。

<担当者からのメッセージ/Message>上記「概要」と「到達目標」を参照。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

53

31433106-000 バイオテクノロジー特論 講義 京田辺 春火・4/火・5 日本語

生命医科学研究科 医生命システム専攻 野口 範子

<概要/Course Content Summary>疾病診断に必要なマーカーの開発や予防、治療のための医薬品、さらに健康維持や抗老化を実現する機能性食品の開発などが、バイオ関連ベンチャー企業のターゲットになっている。成功のカギは優れた製品にあるとされる。優れた製品開発のために必要とされ、かつ、現在までに利用されているバイオテクノロジーを基礎と応用にわたって学ぶことに加え、バイオベンチャービジネスの実際、バイオベンチャー企業への投資の実態についても知る。

<到達目標/Goals, Aims>学外からの講師も多く、バイオテクノロジーに関する基礎知識、社会における現状などの広い情報をえることができ、学生個人の専門領域との関連と相違を考える機会となり、キャリアパスへつなぐことができるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>上記「概要」と「到達目標」を参照。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 30名

54

31630026-000 熱流体工学特論 講義 京田辺 秋金・2 日本語

理工学研究科 機械工学専攻 稲岡 恭二

<概要/Course Content Summary>エアコンをはじめとする様々な熱流体機器は、流体力学、熱力学、伝熱工学の基礎原理を利用して動作している。機器に生じる諸問題を解決し、また新たな機器を開発するには、少なくとも基礎知識を使って実現象を理解する力が必要になる。本講義では、前半で熱流体移動現象の基礎を改めて整理し、後半で熱流体機器の具体例を参照し概説する。講義は配付プリントを解説する予定であるが、受講生が少ない場合には、基礎事項を受講生自らが原著論文を調査・発表し、歴史背景を含め議論することで深め進める予定である。

<到達目標/Goals, Aims>熱流体移動現象に関する基礎知識を得て、実際の機器の動作や性能について考え、計算できる。自然現象や身の回りで生じている移動現象について、分析する視点を持つ。

<担当者からのメッセージ/Message>熱移動について学びたい学生。ただし、流れに関する講義、熱に関する講義、一般的な力学に関する講義を受講したことのある学生。微積分（偏微分方程式を含む）など、数学的表現を理解できる学生。英語の原著論文（英文教科書、雑誌論文）を読みます。場合によっては、パワーポイント資料を作り、発表します。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

55

52101021-000 神経科学入門 講義 京田辺 秋月・2 日本語

脳科学研究科 発達加齢脳専攻 櫻井 芳雄、高橋 晋、坂場 武史、高森 茂雄

<概要/Course Content Summary>脳科学の基礎的事項について、分子・細胞レベルとシステム・行動レベルとの双方の視点から学ぶ。神経細胞とシナプスにおける情報伝達のメカニズムや、感覚、記憶、情報処理、高次機能の神経回路メカニズム等に

ついて学習する。

<到達目標/Goals, Aims>神経科学の基本的事項について、最先端の話題も踏まえながら、分子機構から高次機能まで広範に理解する。

<担当者からのメッセージ/Message>神経科学全体に興味を持ち分子機構から高次機能まで広範に理解することを希望する学生、および最先端の問題に関する議論に積極的に参加する学生を期待する。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名まで

56

31420008-000 生物物理学特論 講義 京田辺 春 金・4 日本語

生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻 貞包 浩一朗

<概要/Course Content Summary>物理学はあらゆる自然現象の基本原則を探る学問であり、なかでも生命現象の本質に迫ることは、これまでの歴史では大きな課題であったし、今後もより重要性が増すものと思われる。本講義では、“生命とは何か？”といった疑問を基軸に、生命体の動的現象の本質を探ることを目的としている。特に現代の生命科学で未解明の課題を明確にすることが、この講義の大きな目的。(1) DNAの物理学：ヒトのDNAは一つの細胞に2m、(2)時空間構造の自己生成：生命の体つくりの不思議、(3)自律的情報処理（非同期超並列時間演算）：神経は何をしているのか？、(4)生体でのエネルギー変換：化学→仕事の直接変換のしくみとは？

<到達目標/Goals, Aims>生命現象に関して、現代においても未だに原理的な理解ができていない問題は何であるかを明確にして、今後の学問に課せられた課題を論じることができるようになりたい。問題や課題の発掘、さらにそれを解くための方法論や研究方法を、受講生が身につけることを目指す。

<担当者からのメッセージ/Message>物理学はあらゆる自然現象の基本原則を探る学問であり、なかでも生命現象の本質に迫ることは、これまでの歴史では大きな課題であったし、今後もより重要性が増すものと思われる。本講義では、“生命とは何か？”といった疑問を基軸に、生命体の動的現象の本質を探ることを目的としている。特に現代の生命科学で未解明の課題を明確にすることが、この講義の大きな目的。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 150名程度

57

31511007-000 公衆衛生学特講 講義 京田辺 春 水・2 日本語

スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 柳田 昌彦

<概要/Course Content Summary>公衆衛生学で取り扱う領域の中から、保健統計の意義と現状、疫学の方法論、公衆衛生活動（地域・産業・母子・老人・精神保健など）の現状や課題、保健医療の制度と法規、疾病や介護の予防とヘルスプロモーション、環境と健康、児童・老人・精神・障害者福祉などについて、最新の学術論文や統計資料などの科学的データを基に概説し、各テーマの課題と展望について討議する。

<到達目標/Goals, Aims>①保健統計の意義と現状について理解できるようになる。②疫学の方法論について理解できるようになる。③環境の変化が人間の健康に及ぼす影響について理解できるようになる。④公衆衛生活動（地域・産業・母子・老人・精神保健など）の現状や課題について理解できるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>本講義では、学士課程で習得した教科書的事実を確認するとともに、最新の文献からの知見を学ぶことによって、公衆衛生学領域における知識や思考能力の高度化を図る。授業はシラバスの講義計画で進める予定であるが、受講者の理解度に応じて変更も有り得るので、あらかじめ了承願いたい。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

58

30840004-000 多変量解析特論 講義 京田辺 秋 金・4 日本語

文化情報学研究科 文化情報学専攻 宿久 洋

<概要/Course Content Summary>多変量データの解析法について、一般的な手法をいくつか取り上げ、基本的な考え方、目的、適用例について教授する。方法論および理論的性質を中心に取り扱い、実践的な利用については踏み込まない。取り扱う手法は、重回帰分析、主成分分析、判別分析、クラスター分析、多次元尺度構成法などを考えている。時間が許せば、より一般的に一般化線形モデルについても取り上げる。

<到達目標/Goals, Aims>データ解析についての基本的な考え方を理解し、目的に応じて適用手法を的確に選択できる。各統計手法の利点欠点を理解し、分析結果を正確に評価解釈できる。

<担当者からのメッセージ/Message>本講義は理系（実験系）の基盤的知識であるデータ解析の方法論についての講義です。基礎理論をきちんと学ぶことで、手法の誤用や解釈の間違いを防ぐことができます。また、他者の研究結果の正確な理解にもつながります。本講義では、大学教養レベルの、線形代数学、微分積分学、統計学の知識を前提とします。受講者のレベルによって、講義形態、利用教科書を変更することがあります。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

59

30840016-000 ベイズ統計学特論 講義 京田辺 秋 月・1 日本語

文化情報学研究科 文化情報学専攻 原 尚幸

<概要/Course Content Summary>本講義では、ベイズ統計学を理論、計算、応用の3つ側面から学習する。理論パートではすべての議論の基礎となる共役事前分布のベイズモデルの推測手法の理論を学習する。計算パートでは、標準的な事後分布からのサンプリング法であるマルコフ連鎖モンテカルロ法の理論・実装法について学習する。応用パートでは、変分ベイズ学習、ノンパラメトリックベイズ法、トピックモデルなどの近年の話題についてのサーベイを行う。

<到達目標/Goals, Aims>ビッグデータ時代におけるベイズモデルの意味を正しく理解し、実問題に適用できる能力を身につける。

<担当者からのメッセージ/Message>高次元の複雑な現象に対する柔軟な統計モデルであるベイズモデルは、ビッグデータ時代の今、非常に注目されている統計モデルです。データ分析に興味を持ち、かつ好奇心旺盛な学生の受講を期待します。学部レベルの微積分・線形代数（行列演算）・確率統計の知識は前提とします。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

60

30840015-000 経済統計学特論 講義 京田辺 春 月・5 日本語

文化情報学研究科 文化情報学専攻 原 尚幸

<概要/Course Content Summary>本講義では、経済データのような調査観察データの分析手法をデータサイエンスの視点から学習する。線形回帰モデルの最小二乗法から出発し、プログラム評価（統計的因果推論）、分位点回帰、セミパラメトリック法、ノンパラメトリック法、制限従属変数法や、部分識別法などの最新の成果まで、理論に加え実データ分析例も交えながら網羅的に学習する。

<到達目標/Goals, Aims>調査観察データを分析するための、因果推論や標本バイアスなどのリテラシーを理論面から理解するとともに、実際の分析に適用できる能力を身につける。

<担当者からのメッセージ/Message>調査観察データの統計分析手法は、近年、劇的に進歩を遂げている分野です。データ分析に興味を持ち、かつ好奇心旺盛な学生の受講を期待します。学部レベルの微積分・線形代数（行列演算）・確率統計の知識は前提とします。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

61

30830009-000 認知システム研究法特論1 講義 京田辺 春 火・1 日本語

文化情報学研究科 文化情報学専攻 杉尾 武志

<概要/Course Content Summary>諸々の文化的現象について理解を深めていくためには、文化の担い手である人間について知ることが不可欠である。本授業では、人間をその心のはたらきという観点から実証的に理解していくための方法論を修得することを目標とする。伝統的な文化を受け継いだり、新しい文化を生み出したりといった人間の認知に基づいた知的なふるまいは、システムとしてとらえることができる。こうした認知システムについて、いくつかのトピックをとりあげて最新の研究動向から、どのような方法論が認知科学的な研究において用いられているのかを学ぶ。

<到達目標/Goals, Aims>本授業の受講によって、心の基本機能について理解を深めることができるようになる。さらに、各トピックについての文献にあたり、整理することを通して認知科学的な研究の枠組みを修得することができるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>様々な学問において、既存の手法では解決することが困難な問題が増加しつつあります。そうした中、これまで以上に学際的に研究を進めていくことが必要となっています。学際的な研究領域である認知科学について、その方法論を中心に修得することで、研究を進めていく上での基礎的能力を身につけることができます。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 2~3名程度

62

30820001-000 言語データ科学特論1 講義 京田辺 春 月・2 日本語

文化情報学研究科 文化情報学専攻 金 明哲

<概要/Course Content Summary>データサイエンスのアプローチで、言語データを扱うことに主眼を置いた研究に必要なデータ解析の基礎知識を修得させ、関連の研究文献を読みこなす能力を身につけさせることを目標とする。授業では、計量分析の基本となるデータ解析の諸方法、機械学習の技法などについてその主な方法とアルゴリズムについて学習を行う。

<到達目標/Goals, Aims>データサイエンスのプロセスについて理解を深めさせ、統計的データ解析の基礎スキルを身につけさせる。

<担当者からのメッセージ/Message>高校数学 A,B, I, II, 基礎統計学の知識が必要となる。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 1・2名程度

63

31600105-000 専攻共通特殊講義（地球環境科学） 講義 京田辺 春 水・4 日本語

理工学研究科 数理環境科学専攻 柴田 一成

<概要/Course Content Summary>地球環境問題の特質と事例、地球システムの構成と変動、人間活動との関係について講義する。特に 21 世紀の人類が直面している地球環境問題を地球システム科学の視点から捉え、気候変動と地球温暖化、人間活動と地球環境との関係、自然災害と防災などに関する基本概念と研究方法を学ぶ。

<到達目標/Goals, Aims>地球表層環境と地球システムの関係に関する基礎的事項を理解し、地球環境問題について自然科学の素養に基づいて考察する能力と態度を身につける。

<担当者からのメッセージ/Message>地球システム科学の視点から環境問題を理解したい学生。大学で地球科学を学んだことがなくても、受講中に地球科学の基礎的概念や用語等を理解しようとする意欲を持っていること。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 10名

64

31600113-000 専攻共通特殊講義（リスクマネジメント） 講義 京田辺 春 水・4/水・5 日本語

理工学研究科 機械工学専攻 田中 達也

<概要/Course Content Summary>機械工学専攻主任が科目代表となり、学外の専門家および企業等の実務者の講演で構成し、それぞれの分野・業界における最新の安全技術、技術者倫理、リスク管理等を修学する。

なお、企業における各種の安全/安心技術に関する事例紹介の「イブニングセミナー」本科目の中で実施する。（春学期・秋学期にそれぞれ1~2回、夕刻に実施）

<到達目標/Goals, Aims>

1. 安全確保の重要性を認識するとともに、高い技術者倫理を身に付けることができる。
2. 安全確保のためのシステム（リスクマネジメントなど）を学ぶことができる。
3. 安全確保に関わる法律・規則、規格・規準を学ぶとともに、安全確保の限界も知ることができる。

<担当者からのメッセージ/Message>文化情報学研究所, 生命医科学研究科, スポーツ健康科学研究科, 心理学研究所, 脳科学研究科の修士課程1年次生を対象とする。理工学研究科の機械工学専攻で2018年度から開始した「ALL DOSHISHA 教育推進プログラム 安全安心のための課題解決力をもった良心を手腕とする高度技術系職業人養成プログラム」の1科目で、産業界で広く要求されている安全工学, リスクマネジメントを主要な内容とするが、特に理工学系の専門知識は必要なく、文理融合的な視野から、実際の企業、産業界での問題をなどを広く学びたい学生に履修してほしい。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 20名

65

31600114-000 専攻共通特殊講義（安全工学1） 講義 京田辺 秋 木・2 日本語

理工学研究科 機械工学専攻 田中 達也, 木村 共孝, ABOLFOTOOH VAZIRI, 牛田 和彦

<概要/Course Content Summary>現在、各種の産業分野において、様々な製品事故やコンプライアンス違反などが散見される。一方、ベテラン技術者の不足や設計者の経験不足も顕在化しつつあり、現場での危険予知、リスク回避能力を持った人材育成が望まれている。このような背景のもと、高度な安全性を維持し、安心なものづくりを進め、世界的競争力を維持・発展させるための安全・安心設計の素養を履修することを目的としている。

本科目では、情報、電気電子、機械分野の教員による各種安全技術に関するリレー講義により、理工学全般の技術と社会安全について学修する。安全・安心を確保した機械・構造物の設計には、各工学分野の基礎を十分理解した上で先端の設計システムに精通した技術者と、環境面での安全にも精通した研究開発者が望まれる。我が国はものづくりによって支えられており、製品の多くは海外に輸出される。このとき、国際標準に沿った機械の安全・安心設計ができる人材が必要となる。

<到達目標/Goals, Aims>フェイルセーフ、情報セキュリティ、防災システム、電気事故、電気火災、電化製品の安全基準、PSE、工作機械/加工の安全、機械制御の安全、故障予知、建設、エネルギーなどの各工学分野での安全技術の概要を身につけること。

<担当者からのメッセージ/Message>文化情報学研究所, 生命医科学研究科, スポーツ健康科学研究科, 心理学研究所, 脳科学研究科の修士課程1年次生を対象とする。理工学研究科の機械工学専攻で2018年度から開始した「ALL DOSHISHA 教育推進プログラム 安全安心のための課題解決力をもった良心を手腕とする高度技術系職業人養成プログラム」の1科目で、産業界で広く要求されている安全工学, リスクマネジメントを主要な内容とするが、特に理工学系の専門知識は必要なく、文理融合的な視野から、実際の企業、産業界での問題をなどを広く学びたい学生に履修してほしい。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 20名

66

31600115-000 専攻共通特殊講義（安全工学2） 講義 京田辺 秋 火・2 日本語

理工学研究科 機械工学専攻 田中 達也, 後藤 琢也, 堤 浩之, ABOLFOTOOH VAZIRI, 佐藤 謙宣

<概要/Course Content Summary>現在、各種の産業分野において、様々な製品事故やコンプライアンス違反などが散見される。一方、ベテラン技術者の不足や設計者の経験不足も顕在化しつつあり、現場での危険予知、リスク回避能力を持った人材育成が望まれている。このような背景のもと、高度な安全性を維持し、安心なものづくりを進め、世界的競争力を維持・発展させるための安全・安心設計の素養を履修することを目的としている。

本科目では、機械・化学・環境分野の教員による各種安全技術に関するリレー講義により、理工学全般の技術と社会安全について学修する。安全・安心を確保した機械・構造物の設計には、各工学分野の基礎を十分に理解した上で、先端の設計システムに精通した技術者と、環境面での安全にも精通した研究開発者が望まれる。我が国はものづくりによって支えられており、製品の多くは海外に輸出される。このとき、国際標準に沿った機械の安全・安心設計ができる人材が必要となる。

<到達目標/Goals, Aims>化学物質のリスク、安全管理、薬品の安全性、食の安全、REACH 規制、環境リスク、環境マネジメント、ISO14000、都市災害、生態リスクなどの各工学分野での安全技術の概要を身につけること。

<担当者からのメッセージ/Message>文化情報学研究所, 生命医科学研究科, スポーツ健康科学研究科, 心理学研究所, 脳科学研究科の修士課程1年次生を対象とする。理工学研究科の機械工学専攻で2018年度から開始した「ALL DOSHISHA 教育推進プログラム 安全安心のための課題解決力をもった良心を手腕とする高度技術系職業人養成プログラム」の1科目で、産業界で広く要求されている安全工学, リスクマネジメントを主要な内容とするが、特に理工学系の専門知識は必要なく、文理融合的な視野から、実際の企業、産業界での問題をなどを広く学びたい学生に履修してほしい。

<他研究科生登録制限人数/Upper limit of students per class> 20名

67

31600116-000 専攻共通特殊講義（安全安心実習） 実習 京田辺 秋 集中 日本語

理工学研究科 機械工学専攻 田中 達也

<概要/Course Content Summary>国内外での企業等で「インターンシップ」（原則として5日以上）を実施し、安全にかかわる知識等の具体的な必要性を体得します。インターンシップ活動を行った年度の終わりには、獲得した安全関連技術の知識を活用し、報告会でその活動結果を発表するとともに、報告書を作成して、これを公表します。

<到達目標/Goals, Aims>インターンシップ先でKY（危険予知）活動、生産現場での安全維持、製品開発に伴う安全確保などについて体験に基づき、役に立つ知識を備え、安全・安心な機械の設計ができる技術者を育成します。

<担当者からのメッセージ/Message>文化情報学研究所, 生命医科学研究科, スポーツ健康科学研究科, 心理学研究所, 脳科学研究科の修士課程1年次生を対象とする。理工学研究科の機械工学専攻で2018年度から開始した「ALL DOSHISHA 教育推進プログラム 安全安心のための課題解決力をもった良心を手腕とする高度技術系職業人養成プログラム」の1科目で、産業界

で広く要求されている安全工学, リスクマネジメントを主要な内容とするが, 特に理工学系の専門知識は必要なく, 文理融合的な視野から, 実際の企業, 産業界での問題をなどを広く学びたい学生に履修してほしい。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 20名

68

31511041-000 身体運動制御論特講 講義 京田辺 春 金・4 日本語

スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 上林 清孝

<概要/Course Content Summary>ヒトの身体運動は筋収縮によって引き起こされるが, その収縮は運動ニューロンが興奮することで生じる。本講義では, 運動ニューロンの興奮に関わる脳神経システムを学び, 身体運動を生み出す神経生理学的メカニズムを理解する。また, どのような機序で身体動作が洗練されるのか, 運動学習の神経基盤や運動機能障害後の回復機序についても学習する。

<到達目標/Goals, Aims>ヒトの身体運動を生み出す脳・脊髄システムを説明できるようになる。運動学習に関わる神経基盤を説明できるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>受講者は神経生理学の基礎知識を有していることが望ましい。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名

69

31511011-000 スポーツ心理学特講 講義 京田辺 春 金・5 日本語

スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 石倉 忠夫

<概要/Course Content Summary>スポーツ心理学特講はスポーツ心理学研究領域における競技場面への応用研究領域に焦点をあてるのではなく, 運動学習・制御やスポーツ心理学における各理論ならびに基礎研究を中心に触れるとともに, スポーツ心理学に関する研究の問題発見や問題解決能力育成の礎になることをねらいとする。取り扱う内容としては運動学習・制御, 心理的状态と運動パフォーマンスとの関わり, 動機づけと運動行動等を中心にディスカッションを交えながら講義を展開していくこととする。

<到達目標/Goals, Aims>学部で得た理論的背景を確認するとともに, 最新の文献からの知見を学び, さらにこの領域における知識や思考能力をより高度なものにすることができる。

<担当者からのメッセージ/Message>多角的な視点でスポーツと心理の関係を議論できることを期待します。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 3名

70

31511025-000 スポーツ政策論特講 講義 京田辺 春 木・5 日本語

スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 横山 勝彦

<概要/Course Content Summary>本特講では, スポーツニーズが多様化する現代社会において, スポーツ振興政策の現状と課題や, 諸外国のスポーツ政策, あるいはスポーツ政策と行政との関係を視座に, その政策的課題を明確にする。従って, 授業は, 受講生各人の問題意識に沿って, 報告と議論を中心に進める。

<到達目標/Goals, Aims>学生は, 本特講により, 問題発見能力・問題解決能力・論理的思考及び表現力・合意形成能力を身につけ, スポーツ文化についての分析と総合的判断が行えるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>スポーツを社会の縮図と捉えた上で, その本質や社会的役割を多分野から考え, 自らの問題意識を進化させたい学生。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 3~5名程度

71

31511035-000 スポーツ運動学特講 講義 京田辺 春 木・3 日本語・ドイツ語

スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 田附 俊一

<概要/Course Content Summary>スポーツ運動学に関する概要と基礎的な知見を学び, 人が目指すスポーツ運動や技能を発生させる具体的方法, 及び, それによる影響などを俯瞰する能力を身につけることを目的とする。具体的には, できない動きができるようになるための論理と実践, それによる教育的意義, 人生における意義などを学習する。

<到達目標/Goals, Aims>スポーツ, 身体運動, からだについて, エネルギー消費などの定量的価値ではなく, 人生における価値や意味を, スポーツ科学に加え, 伝統芸能などを含む様々な観点からアプローチし議論することができるようになり, さらに, その考えを論理的に発信できるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>対象学生に制限を設けません。使用言語にドイツ語も記載しましたが, ドイツ語能力を問いません。スポーツや身体運動, からだについて哲学や芸術, 伝統芸能, 教育など, 様々な視点で議論し考えを深めたい学生さんであれば, 大歓迎です。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 制限なし

72

52101003-000 研究安全と倫理 講義 京田辺 春 月・2 日本語

脳科学研究科 発達加齢脳専攻 櫻井 芳雄, 高橋 晋, 貫名 信行, 小原 克博, 正水 芳人

<概要/Course Content Summary>科学研究の遂行に際して求められる安全と倫理について, 多様な視点から総合的に学ぶ。実験に伴う一般的な危機管理に加え, 生物実験に特有の規則や生命倫理等について広く知ることにより, 脳科学が直面する諸問題について学習する。

<到達目標/Goals, Aims>近年の研究手技の進展に伴い, 科学実験の遂行に際して求められる知識はより多様なものになっている。実験に伴う怪我や火事といった一般的な危機管理に加え, 「動物実験」「遺伝子組み換え実験」「ヒトゲノム・遺伝子解析」「病原体管理」「放射線同位元素取り扱い」など特有な生物実験に際して遵守すべき規則と, 倫理, 自他への危険性と対応を学

ぶ。科学の可能性と限界，文化における科学の位置，生命倫理について学び，社会の中で科学が現在直面している問題，将来発生することが予想される問題について自分で考えることができるようになる。

<担当者からのメッセージ/Message>脳科学研究のための実験において，遵守すべき規則と，生じ得る倫理的問題について学びたい学生。双方向性に議論しながら授業を進めるため，実際に生物実験をおこなっている学生が望ましいが，必須ではない。

<他研究生登録制限人数/Upper limit of students per class> 5名まで

【アドバンスト・リベラルアーツ科目群】※全大学院生が履修可能

2021年度から，大学院生のキャリア形成支援を目的として，普遍的な見方から全体像を捉える能力（俯瞰力）を備えつつ，文系理系・分野を越えた複数の深い専門知を組み合わせながら事象にアプローチできる能力（総合力），未来を読み解く視座（創造力）を身に付け，良心を支柱に人間社会の将来のあり方を模索（提案力）する「アドバンスト・リベラルアーツ科目群」を開設します。

開講科目は，大学院教育プログラムである下記3つのプログラムが提供します。

- ・博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネージメント」（以下、GRM）
- ・研究科横断副専攻プログラム「Comm 5.0 - AI・データサイエンス副専攻プログラム」（以下、Comm 5.0）
- ・「次の環境」協創コース（以下、次の環境）

科目の詳細については，アドバンスト・リベラルアーツ科目群のリーフレット，関連するプログラムの履修要項，シラバスを確認して下さい。

<開講科目>

- 35699601-000 **Resource Management for Coexistence and Cultural Diversity**（GRM 提供科目）
- 35699602-000 **Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works**（GRM 提供科目）
- 35699650-000 **Group Work Practice I**（GRM 提供科目）
- 35699690-000 **Group Work Practice II**（GRM 提供科目）
- 35620613-000 **科学と良心**（Comm 5.0, 次の環境 提供科目）
- 35620614-000 **心理環境科学特論**（Comm 5.0, 次の環境 提供科目）
- 35620615-000 **セルフアウェアネス（コーチング入門）**（Comm 5.0 提供科目）
- 35630617-000 **環境リテラシーのための文学特論**（次の環境 提供科目）
- 35630625-000 **現代世界を読み解くためのリテラシー**（次の環境 提供科目）
- 35630626-000 **国際紛争と調停の理論と実践**（次の環境 提供科目）
- 35630655-000 **「次の環境」特別講義**（次の環境 提供科目）
- 35620654-000 **SDGsのための知的研究開発手法**（次の環境 提供科目）
- 35620652-000 **フューチャーデザイン演習**（次の環境 提供科目）
- 35620661-101 **ミッション研究 I**（次の環境 提供科目）

